

会 議 録 （会議経過含む）

会 議 の 名 称	平成２５年度由利地域協議会
開 催 日 時	平成２５年６月２０日（木） 午後２時～
開 催 場 所	西滝沢水辺プラザ 「多目的ホール」
出 席 者 氏 名	「出席者名簿」のとおり
欠 席 者 氏 名	「名簿」のとおり
会 議 次 第 １．開 会 午後２時～ （進行：熊谷振興課長） ２．会長あいさつ （会長） 一言ご挨拶申し上げます。 皆さんお忙しい中、出席していただきました。今日の出席状況をみますと欠席の方が多くようございます。この協議会最後の会と云うことで、皆さん既にご案内のように発足から２期目の８年が経過しております。 平成１７年３月２２日に由利本荘市が誕生してから、市の総合発展計画やら様々な計画がございまして、その中においては２１年から２６年までの主要事業の変更等の協議もございました。もちろんこれから２７年度からの総合計画が今後の課題でございますが、特に合併前の各市町の時代に建設計画を提出して合併協議会で新まちづくり計画を策定した訳ですが、それに伴っての新しい総合発展計画でございましたが、なかなか思うように進まなかったのも事実であるとおもいます。 見直しによって２０年の公債費適正化計画に基づいたものにしよう云うことで、今現在は決算状況の資料をみますと１６％ぐらいになるのではないかと云うような、非常にいい数値が出そうでございます。これもみなさん市民各位の努力のたまものとこのように思います。 ２７年からの主要事業の見直し等が、２期目に入りました長谷部市長がこれに対処する訳ですが、２期目に当たって市長は地域の均衡のある発展と云うことで、特に定住自立圏構想共生ビジョンを柱とした、８つの柱と３１の項目について公約しながら実施していくという訳でございますが、これは特にこの間協議が終わりましたが、国療跡地の問題等もございます。特別枠の事業もたしか６５億円くらいだったと思いますが、それも含めた新しい特色が出てくる、これからが大きな事業が待っている訳でございます。今まで以上に皆さんのご協力も必要かなとこのように思っております。 今日の議題は「新たな組織について」とその他ございますが、あまり時間をとらずに早めに終了できればと思います。平成１７年６月から８年間にわたりまして、この協議会が特別支障なく遂行できたのも委員皆さんのご指導のたまものと厚く御礼申し上げましてあいさつにかえたいと思います。 ３．会長報告 資料－１により、各種会議への出席状況について説明。 （佐藤千秋会長） ４．行政報告 資料－２により、６月１８日までの由利地域の行事等を報告。 （由利総合支所 庄司支所長）	

5. 協議

資料－3により「新たな組織について」説明 （熊谷振興課長）

（A委員）

ただいま説明ありましたが、現在の地域協議会とこのまちづくり協議会の性格の違いを教えてください。

（熊谷振興課長）

地域協議会とまちづくり協議会との大きな違いですが、これから具体的な内容については新たな組織で検討してまいります。まちづくり協議会は自主的に活動を行って、計画・立案・行動するという組織であるということが大きな違いであると思います。

（B委員）

議会でこの件に関してどのような議論が行われたのか状況がわかれば教えてください。

（庄司総合支所長）

条例等の協議は委員会で協議されるのですが、この件は、総務常任委員会で話し合われておりますが、私は教育厚生委員会に出席していたので、具体的な協議内容は把握しておりません。

（C委員）

会長報告の中で、支所のあり方検討委員会への出席の報告がありましたが、総合支所のあり方検討委員会と、地域協議会を廃止してそれに変わるまちづくり協議会を設置すると云うことの関連はいかがだったかお聞かせください。

（会長）

支所のあり方については全く関係ありません。各支所・出張所の存続などのあり方についての協議であったので、地域協議会やまちづくり協議会とは関係のない検討会でした。

新しい組織についての話は、8地域協議会会長・副会長会議で説明がありました。

その中では様々な質問が出ましたが、今のような性格の違いなどの質問もありましたが、今まで諮問だけの会議だったので、今後はそうでなくやってもらいたいといった要望もありましたし、会議の回数を記載するべきではないかとの意見も出ました、任期も3年4年ではどうかとの意見もありましたが、最終的には2年となったようです。

会議の中ではそのほか、報酬はいくらなのかという質問もありました。かなり活発な意見が出ておりました。公募の委員選出について適切なやり方になっているかという質問もありました。

（C委員）

支所の方にお伺いします。交付税の件ですが、新聞報道などで拝見したのですが、合併した旧町が支所というかたちで存続しているので交付税を上積みして交付するべきでないかという動きがあるようですが、由利本荘市もこれに該当するのではないかと考えているのですが、そのあたりはどのようなことになろうとしているのかお伺いします。

それから、まちづくり協議会の役割の中に、今の地域協議会と大きな違いでないかと思うのですが、役割りの第3条2項市長に提言することができるという文言がでてきております。市長に意見を述べるという文言も出てきております。

地域協議会は諮問に答えて協議をして当局にあげてやるということでしたが、自主性を尊重するという振興課長の話もありましたが、こういう形で設置するということですが、支所としてどういった運営していこうとイメージ化しているのか教えてください。

（庄司総合支所長）

地方交付税の質問ですが、国の方で地方公務員の給与を7.8%引き下げるといった特例措置を行っているというので、これに対しまして地方の方でだいぶ反対していました。この間まで秋田県知

事も反対していましたが、結局は交付税に影響するという状況の中で今こうなっております。

ただ、合併した市町村がどこでも同じ条件かと。たとえば、由利本荘市は1市7町、にかほ市は3町の合併という状況の中で、面積等が莫大に違うような合併のかたちがあると、そう云うことに対しての交付税算入を変えてもらえないかと国への要望等をこれから行いたいと考えております。

ただ国の方では、はっきりしているのは平成25年度分の交付税は前年度比2億7800万円くらい減額するだろうということです。合併して人員削減等いろいろなもの行ってきたことに対して、地域の元気づくり事業費として算入見込額が1億400万円ほどございます。それによって、差し引きして1億7400万円ほどの交付税が減る状況ですが、今後職員の給料を国のラスパイレス指数100に合わせて減額していかないと次年度の交付税算入に影響するのだろうと、これが国のやり方なのかということ、今回6月定例議会で職員の給与削減を1億3600万円ほど減額しております。職員給与分を減らしたとしても、差引で4000万円くらいの交付税は減額となる見込みでございます。なるべく交付税が減らないようにがんばっていききたいと云うことでございます。

(熊谷振興課長)

第3条2項の市長に提言ができると、3項の市長に意見を述べるができるということですが、具体的にはこれから形作りをしていかないといけないと考えますが、1回目の協議会ではこのまちづくり協議会という組織がどのような役割を担っていくのかと云った説明だけになろうかと思えます。

そして2回目以降については、例えば町内会代表者や各種団体などの方々と一緒に会議を開催して、地域全体としての要望・意見をまとめていくなどとしていかないと、結果的にただ会議を開いて終わりになってしまうので、これから具体化して進めていきたいと思えます。

(庄司総合支所長)

今後一番まちづくり協議会でやらなければいけないのは、27年度以降の総合計画案の協議でありますから、支所として、まちづくり協議会に事業計画案を提示していきたいと思えます。それに対してご意見をいただき、別な方法はないかとか、別な事業をやった方がいいのではないかという話を、今後は協議会に諮りながら進めていきたい。また、支所のあり方についてですが、先ほどの会長報告のあり方検討会とは別に、由利総合支所の場合、支所の庁舎自体をどうするのかという問題がありまして、建て替えや移転等の場所選定などの案も提示して協議をしていきたいと考えております。

(A委員)

まちづくり協議会の委員の選定や1回目の会議のスケジュールの見通しをお知らせください。

(熊谷振興課長)

委員の公募は7月1日号の広報に掲載されます。公募の委員の決裁後、8月1日付けで委嘱となります。市長自ら委嘱状を交付したいとのことから、日程調整しまして由利地域は8月27日午後6時に第1回を開催予定となっています。

公募以外の委員につきましては、町内会等からの推薦による1号委員については、地区のバランスを考慮し、鮎川・西滝沢・東滝沢地区の各地区から2名ずつ推薦をいただくこととしておりますが、鮎川・西滝沢地区については、それぞれ鮎川地区総代会、また、西滝沢地区行政連絡会議がございしますので、そちらの方に推薦依頼を出しております。東滝沢地区については組織がないため、各集落の総代さん宛に2名の推薦を依頼し、推薦された方の中から、再度6月25日に総代さんから集まっていただき選考していただくというスケジュールとなっています。

2号委員については、男女共同参画の観点から1/3以上女性委員を入れるようにとのことで、由利地域婦人会、JA女性部由利支部、商工会女性部由利支部、由利中PTA、由利小PTA、ゆり保育園保護者会からそれぞれ女性1名ずつ、計6名を推薦いただくこととなっております。

3号委員については、各地区のバランスを考え選考したいと考えております。

(D委員)

まちづくり協議会の開催回数は決められていないのか。

(熊谷振興課長)

費用弁償・報酬の支出される回数は年2回。それから、各まちづくり協議会が部会等を設けるなど自主的に行うものについては、何度開催してもいいが費用弁償等はなしとなっております。

資料－4により「平成25年度由利地域主要事業について」説明 (庄司総合支所長ほか)

(D委員)

主要事業とはかけ離れたことですが、教育学習課へ緑地公園の「頭上注意」の看板がありますが、立てる位置がまずいと思います。照明灯の下に立てるとかなりいいが全然関係ないところに立っているの。

それと、由利中同窓会がありますが、由利中同窓会で給食室のアンプを3年掛かって整備したとのことですが、こういった事は行政で整備するべきことだと思いますがいかがでしょうか。

(豊嶋教育学習課長)

緑地公園の看板についてはご指摘を受けておりまして、やはり関係ない場所にあるので何の看板がよくわからないと話をされております。立てた目的は、照明灯の老朽化で部品の落下が4月頃にありまして、その注意喚起のための看板でした。やはり立てる場所が非常にわかりにくいため、内容を検討し落下が想定されるような場所に設置するように対応したいと思います。しかし、物によっては風に流される場合もあるとのことですが、全然飛ばないような箇所には立てないようにしていきたい。

給食室の放送設備については、同窓会で設置することになった経緯がわからないのですが、学校内の設備だとすれば教育委員会に対応するべきだと思います。

(D委員)

同窓会の責任者の方に聞いたら市へ設置を要求したができなかったために同窓会でやることになったとのことだったと思います。そういった対応はまずいのではないかと思います。

(B委員)

緑地公園の入り口の黒沢集落側の階段が、砂利の階段ですが、凸凹していて大変歩きづらい状況になっている。

また、由利郵便局から善隣館下の十字路までの防雪柵について以前から要望しているが、冬期間児童が大変な思いをしているようなので早期に設置をお願いします。

(豊嶋教育学習課長)

緑地公園の階段については現場を確認して対応したいと思います。

(庄司総合支所長)

防雪柵については、今のご意見のとおり必要性は十分にあり早急に設置したいところでございますが、ふれあいトークでも質問ありましたしPTA関係からも要望があります。当初の総合発展計画の中には予算上、計上されていないという状況は説明してきましたけれども、今後27年度以降の総合計画で、早く実施できるようにと考えております。

(D委員)

予算要求段階での説明で、自転車置き場についての事業が上がっていたと思うが、予算がつかなかったのか、この事業自体をやめたのかどうか。

あと、曲沢集落から郵便局の間の歩道の防犯灯がありますが、間引きをしている。間は結構暗くて危険です。ある物をどうして付けないのか。電気料はたかがしれているので、明日からでも点灯させてください。お願いします。

(豊嶋教育学習課長)

自転車置き場については、予算要求しましたが査定でゼロになっております。

(庄司総合支所長)

防犯灯については、東日本大震災の時に東北電力からの要請もあり間引きさせていただきました。

その前からいろいろ話がありましたが、通常は100mに1箇所であるが、歩道と云うことで子ども達が歩く場所でもあるので、50m間隔と密に設置した状況でした。

これについてはたくさんご意見をいただき、なぜこんなに防犯灯が必要なのかと言う人もいましてお叱りも受けております。東日本大震災で電力の協力も得ながら間引きした訳ですが、今後必要であるならば点灯していきたい。また、今LED化の事業がありまして、その事業の時に設置状況を他の地域と合わせながら進めていきたい。現在ついている防犯灯にはつけられないと思われるので、現在の下につけるなどの対応となると思いますが、1本おきだとか調整して進めていきたいと思います。

（C委員）

指定管理者制度の件についてですが、ふれあい農場に指定管理者制度を導入するような動きがある話を伺ったのですが、どうなっているかと云うことと、併せて、市立幼稚園・保育園の指定管理者等の状況、また、本荘のぱいんすば新山や鶴舞温泉の指定管理者制度の導入の状況についてお聞かせください。

（釜台産業課長）

ふれあい農場の指定管理者制度の関係につきましては、市の第二次行政改革大綱の中で26年度に指定管理制度を導入するという位置づけとなっております。指定管理の目的というのは民間活力導入ということでございますが、今議会で市長が会派代表質問の中で26年度に向けて指定管理者制度を導入していくという答弁をしております。今現在動きはどうなっているのかといいますと、昨年から事務担当レベルで導入に向けての検討会を何回か開催しています。この中で今後のスケジュールとしては、来年4月1日の導入に向けて、7月いっぱい指定管理募集の要綱・仕様書の作成、公募に関わる準備を進めております。8月1日から9月末まで募集を行い、12月には選考委員会等開きまして最終的には12月議会に協定書の締結議案を上程されるスケジュールとなっております。

農場の関係の管理者となれば、地元の意見としては地元の法人なりあるいはJAなり声かけはしていく必要があるのではないかと市長もそのようなかたちで考えています。そういうかたちで進んでいる状況ですのでご理解いただければと思います。

（庄司総合支所長）

ふれあい農場については伊東元町長の思い入れの強い施設であったと思います。

昨年一昨年前のあたりにJAと市とが出資して第3セクターとなるのがベターと考えていましたが、JAが出資できないということで、行革大綱は最初からあった訳ですが指定管理者に向かうという方向になってしまった状況です。先ほど産業課長が言いましたとおり、できれば由利地域の方々にやれる人がいなかだいで探してみたいのですが、なかなか今のところやるという方がいない状況です。そのため公募でいかざるを得ないのかなといった状況です。ただ、公募して全部相手に任せるというのは非常に心配なところがあるのでそのあたりはチェックしていきたいと思います。

（佐藤市民福祉課長）

保育園の民営化の関係ですが、市の行革大綱の中に公の施設の見直しということで保育園以外の施設も含めての指定管理あるいは民営化という話があった訳ですが、保育園については以前の地域協議会でも説明があったかと思います。ゆり保育園につきましては様々な課題があって民営化への移行が難しいのではないかとということで今まで様々な機関で話し合いをしてきました。実際には保育園の担当課の市民福祉課と人事担当の振興課の2課の課長と本課の子育て支援課や市民福祉部などで、対象となる公立保育園10箇所ある訳ですが、それぞれ施設毎に今後どうするのか、ワーキンググループを開催して協議してきました。一定の方向性を示して上に上げてやるという作業をしておりますが、ゆり保育園は先ほど話したとおり移行までの課題があり29年度に民営化する方向で検討していくと云うことで、それまで、住民への説明、職員への説明、保護者の理解、一番ネックなのは地元で法人が設立できるのかなど、そういった課題を会議で出し合いながら他の地域の施設とも話し合ってきましたが、結果から言うと行政改革大綱の中で本荘以外の10施設が公立で残っているが、平等に民営化するという方向性は変わってないらしく、住民への説明を十分にやって将来的には民営化してい

くと云う方向になっておりますが、２９年度まで延ばすのは甘いと云う話が今日本庁の方からありまして、急遽２７年度まで前倒しして民営化する方向付けで協議するよう話がありました。これについては決定ではなくこの後ワーキンググループで協議していく訳です。今後の協議について皆さまにお知らせしていくことになると思いますのでよろしくお願いします。

（庄司総合支所長）

鶴舞温泉もばいんすば新山も指定管理者制度を導入済であります。

資料－５により「地域づくり推進事業について」説明 （熊谷振興課長）

６．その他

国民文化祭事務局より大場事務局長がパンフレットを元に由利本荘市で開催する内容等を説明し協力についてお願いする旨の話があった。

７．閉会

終了 午後４時

会 議 の 資 料	別紙のとおり
-----------	--------

◆出席者名

会 長	佐藤 千秋	由利総合支所長	庄司 昭一
副会長	徳山 洋一	振興課長	熊谷 善弘
委 員	工藤 健一	市民福祉課長	佐藤 繁俊
委 員	佐藤 俊弘	産業課長	釜台 憲二
委 員	高橋 朗	建設課長	加藤 敏行
委 員	佐藤 イネ子	教育学習課長	豊嶋 喜一
委 員	木内 進	振興課課長補佐兼班長	熊谷 信幸
委 員	木内 芳一	振興課主査	山田 雄
委 員	佐藤 金市	振興課主任	鈴木 顕